

第1回社会課題勉強会 実施報告書

2026年9月
日立ITユーザ会事務局

- 1. サマリ
- 2. 開催概要
- 3. アンケート結果
- 4. 次年度継続に向けて

満足度

100%

回答者23名全員が
『満足以上』の評価

NPS スコア

-4.3

推奨度平均 7.57点

推奨者5名
中立者12名
批判者6名

参加者数

24名

定員を満たす参加申込みがあった

※30名申込であったが
体調不良等で当日6名欠席

2. 開催概要

Fusion Growth Lab 第1回社会課題勉強会

日程	2026年9月11日（金） 13:30~17:45
会場	日立大森ビル6階 RoomA
対象	日立ITユーザ会 会員（次世代を担うリーダー/イノベーション人材/若手・中堅層の方）
参加人数	24名(1会員2名まで) ※アンケート回答23名(95.8%)



講師プロフィール



飯盛 豊 / Yutaka (Charlie) limori
knots associates株式会社 Associate
デジタルサーフ株式会社 代表取締役

長年にわたり外資系IT業界で経験を積んだ後、1999年に米国シリコンバレーへ渡り、スタートアップ企業（現在のGoogle社）の創業に参加。2008年にデジタルサーフ株式会社を設立。企業のイノベーション促進、DX・GXに向けた人材育成、新規事業の企画・構想支援を専門領域としている。



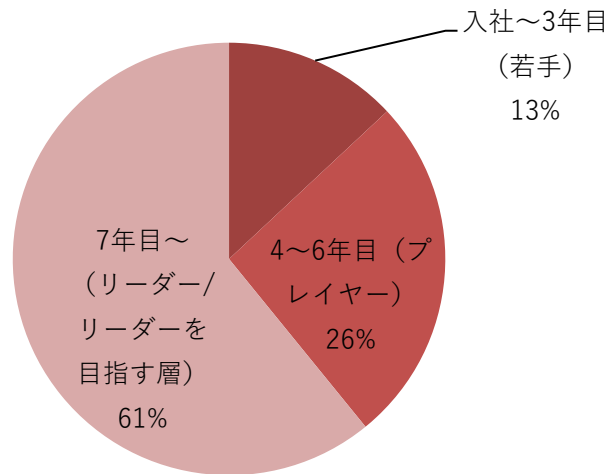
■ アジェンダ（タイムテーブル）

時間	プログラム	内容
13:30~13:45	 オリエンテーション	社会課題は、なぜ解決が難しいのか？ 身近な事例を起点に、社会課題に対する問題意識を共有します。
13:45~14:10	 Lecture 1 「社会課題をシステムとして捉える」	社会課題の背後にある「つながり」と「構造」を見る視点を学びます。
14:10~14:40	 Case Study 事例から社会課題の構造を読み解く	身近な事例を通じて、社会課題をシステムとして捉える考え方を体験します。
14:40~14:50	 休憩	休憩の時間です。
14:50~15:10	 Lecture 2 解決策があっても、なぜ社会は変わらないのか？	社会の「変わりにくさ」を生み出す構造（Regime）について学びます。
15:10~15:50	 ワークショップ なぜ、ハンコはなくなるのか？	身近なテーマを題材に、社会が変わりにくい理由や構造について対話します。
15:50~16:10	 全体共有・対話	グループごとの気づきや異業種の視点を共有し、多様な角度から社会課題を捉えます。
16:10~16:25	 Lecture 3 技術を社会の変化につなげるために	「何をつくるか」の前に、「なぜ変わらないのか」を問い直します。
16:25~16:30	 クロージング	次の問いへ 「では、どこから変化を生み出すのか？」
16:30~16:45	 休憩	休憩の時間です。
16:45~17:45	 ネットワーキングセッション（交流会）	参加者同士で学びや気づきを共有し、業界や立場を超えた交流を深めます。

※時間は目安です。進行状況により一部変更となる場合があります。

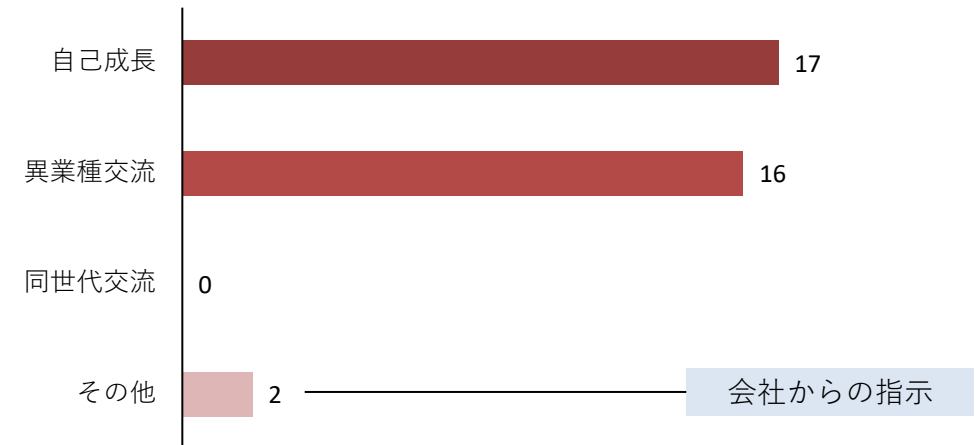
3. アンケート結果：参加者属性

キャリア年次



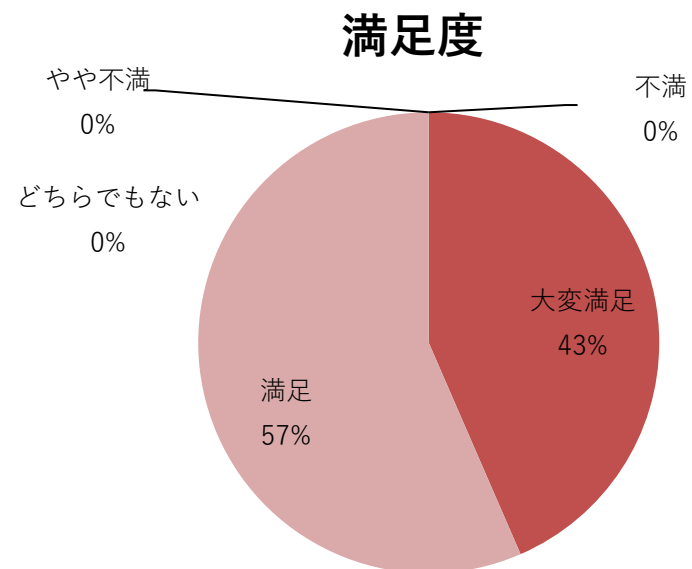
入社～3年目(若手)	3	13.0%
4～6年目(プレイヤー)	6	26.1%
7年目～(リーダー/リーダーを目指す層)	14	60.9%

参加目的（複数回答）



自己成長	17	73.9%
異業種交流	16	69.6%
同世代交流	0	0.0%
その他	2	8.7%

3. アンケート結果：満足度



大変満足	10	43.5%
満足	13	56.5%
どちらでもない	0	0.0%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%

満足・大変満足

100%

日々の仕事が汎用的にスキルを培っていけるものであると再確認できたため
異業種の方と一つの課題について考え、意見交換が出来たことが大変面白かった。講師の飯盛様の講義も大変面白かったです。

自分が持っていない視点についての意見が多く、新たな気づきがあったため。

異なる視座を持つ方たちの意見や考えを聞くことができ刺激になったから。

社会問題という大きなテーマではあったが、課題を解決するためには様々な因果関係があるが地道なアプローチが必要であるということが改めて理解できたため。

僕の今行ってる業務では、異業種の方や他の企業の方と関わる機会が無いので、とても貴重な体験になったため。

普段意識しない事について考え、ディスカッションする機会があったため

前向きに参加されてる方が多く、ポジティブに意見交換ができた

社会課題に対する理解を深められた

他業種の意見を聞いた

普段業務に携わっている中では認識していない考え方を仕入れられたため。

ビジネスの向こう側にある社会課題にアプローチするマインドを意識出来た

日頃触れない価値観に触れられたため

異業種の方と交流し、自分にはない考えを知れたから。

DX推進を担当していますが、社内に浸透していかないことをシステム構造的に捉え、どこから変えていけばいいか入り口を探す作業を多角的に検討したいと思いました。

いろいろな意見が出ていたので。

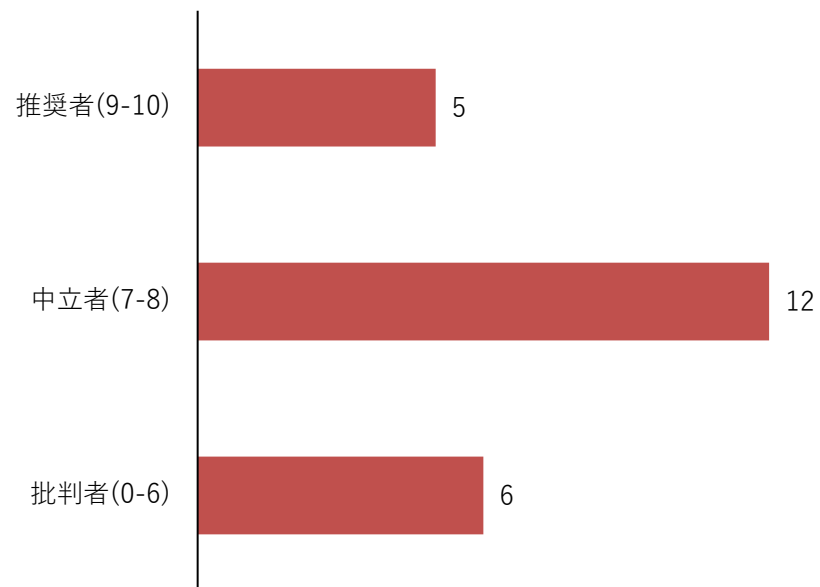
異業種との交流と、社会課題の勉強→**普段の業務で使える思考を学ぶことができた**。

普段関わらない業種の方とお題に対して共に議論することができたからです。

短い

3. アンケート結果：NPS

NPS内訳



推奨者(9-10)	5	21.7%
中立者(7-8)	12	52.2%
批判者(0-6)	6	26.1%

NPS

-4.3

▶ 推奨度の平均は7.67点

3. アンケート結果：感想・意見

本ワークショップに関するご感想やご意見、または日立ITユーザ会に期待することをお聞かせください。

とても為になりました。またこの様な機会があれば参加したいです。

異なる業界、世代の方と業務関係なく話せたので、勉強になることが多かった。

大変有意義だった

若手じゃなくてすみません

自分が所属する業界について振り返る契機となった。

また参加したいです

システムデザインの概念は大変勉強になりました。

継続的に参加し、より様々な観点から学び、思考したいと思った。

Appendix― 当日の様子 (お写真には一部モザイクをいれております)

HITACHI



4. 今後のFusion Growth Lab

HITACHI

是非今後の行事ご参加もご検討ください！



2026年 実行フェーズへ！

中堅・若手層向け

Fusion Growth Lab

のご案内

～異業種で社会課題に挑む、次世代リーダーの視座を磨く実践プログラム～

若手・中堅社員の方々を対象とした、人材育成と企業間を横断するコミュニティの形成、そして社会課題解決に向けた協業の土台作りをめざします。



Social issues
(社会課題)



design thinking
(デザイン思考)



Career
(キャリア)



Ideation
(アイデア創出)

**プログラム活用の
メリット
(3つの柱)**

**1 社外の多様な視点を吸収し、
視野を広げる**

同世代の仲間との交流を通じて、社内では得られない視点や発想力を養い、ビジネスリーダーとしての素養を高めます。

**2 実践的なスキルと
マインドセットの習得**

デザイン思考やシステム思考をワークショップやアイデアソンを通じて体験し、自社に戻って活用できる「企画力」「提案力」を磨きます。

**3 社会課題を事業機会に
変える視点を養う**

社会課題への深い理解と、それをビジネスアイデアへと転換する手法を学び、次世代の事業を担う力を育てます。

年間プログラムスケジュール(予定)

6月18-19日	7月28日	9月11日予定	10月～1月予定	2月予定	3月予定
 社内キャリアデザイン ワークショップ	 デザイン思考体験 ワークショップ①	 社会課題勉強会	 ビジネスアイデア発想 ワークショップ(全5回)	 デザイン思考体験 ワークショップ②	 社会課題解決 アイデアソン
若手層を対象に自己理解を起点に、社内キャリアの次の一步を描く	社会変化の洞察と事業機会アイデアを発想する未来洞察体験	社会課題への理解を深め、ビジネスの機会へと活かす視点を養う	デザイン思考やシステム思考の価値創造理論と手法を学ぶ	※7月と同内容	ワークショップ発アイデアのブラッシュアップ、協創の基盤づくり